

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	井上 さよ子
2. 研究課題名	胸膜浸潤による疼痛に対するタペンタドールの鎮痛効果の検討
3. 研究の目的・方法	目的: 胸膜浸潤による疼痛のオキシコドンに対するタペンタドールの有効性を検証する 研究方法/デザイン: 観察研究 後ろ向き症例研究
	研究期間: 平成28年7月から平成30年3月31日 (遺伝子解析: ①行う②行わない)
4. 研究の対象となる方	タペンタドールが当院に採用となった2014年11月から、2015年5月までの間で、呼吸器系、消化器系、乳がんの胸膜浸潤による疼痛でタペンタドールやオキシコドンが処方された症例
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名(なし) 診療情報内容: (1) 基本属性 ・性別、年齢、PS、ADL (2) 現病歴 ・疾患名、現在行っている治療 (3) がんの胸膜浸潤による疼痛に関すること ・疼痛部位、画像診断の結果 * タペンタドール群 ・タペンタドール開始後1か月間の投与量や投与方法 ・疼痛の程度(NRSや言動)と日常生活(PSや言動)への影響 ・主な副作用(悪心・嘔吐・便秘・傾眠) ・併用する他の鎮痛剤(レスキューの種類と量、NSAIDs、鎮痛補助薬など) ・併用する副作用対策の薬剤(制吐剤、緩下剤など) * オキシコドン群 ・オキシコドン使用中もしくは開始後1か月間の投与量や投与方法 ・疼痛の程度(NRSや言動)と日常生活(PSや言動)への影響 ・主な副作用(悪心・嘔吐・便秘・傾眠) ・併用する他の鎮痛剤(レスキューの種類と量、NSAIDs、鎮痛補助薬など) ・併用する他の副作用対策の薬剤(制吐剤、緩下剤など)

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局

住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)